

栄典の受章環境について検討を要する候補者の取扱いについて

1. 「栄典の受章環境について検討を要する」場合 → 事前協議が必要な場合
候補者又は候補者の関係する法人等※が、

- ① 刑罰を受けた場合
- ② 警察等の取り調べを受けた場合
- ③ 所得税法、法人税法等に基づく重加算税を賦課された場合
- ④ 独禁法に基づく調査、審決、命令等を受けた場合
- ⑤ 許認可取消、営業停止等の行政処分を受けた場合
- ⑥ 訴訟が係属中である場合
- ⑦ 不祥事等について報道があった場合
- ⑧ 事故を起こした場合
- ⑨ 懲戒処分を受けた場合
- ⑩ 法人等の経営状況に問題がある場合
- ⑪ 暴力団員等との関係が疑われる場合
- ⑫ その他栄典の受章環境について検討が必要と思われる場合

など。

(注)

※ 「候補者の関係する法人等」については、次の区分により事前協議の対象とされたいこと

ア 候補者が法人の代表者、経営者又は施設の管理者（病院長、社会福祉施設の長等）である（あった）場合

- (ア) 在任中及び在任後に、指揮下の職員等が法人等のために行った行為により、上記①、②、⑦に該当した場合（②については、行為の時点が任期の始期以降であるもの） … 要事前協議
- (イ) 在任中及び在任後に、法人等又は指揮下の職員等が、法人等のために行った行為により、上記③～⑤、⑩に該当した場合 … 要事前協議
- (ウ) 指揮下の職員等が法人等のために行った行為により、上記⑥又は⑧に該当した場合 … 別紙に示す

イ 候補者がアには当たらないが、指揮下の職員等を持つ監督者である（あった）場合

- (ア) 在任中及び在任後に、指揮下の職員等が法人等のために行った行為により、上記①、②、⑦に該当した場合（②については、行為の時点が任期の始期以降であるもの） … 要事前協議
- (イ) 在任中及び在任後に、法人等又は指揮下の職員等が、法人等のために行った行為により、上記③～⑤、⑩に該当した場合
… 内容により事前協議を検討

- (ウ) 指揮下の職員等が法人等のために行った行為により、上記⑥又は⑧に該当した場合 … 別紙に準じて取り扱う
- (エ) 在任中及び在任後に、法人の代表者等が法人等のために行った行為により、上記①、②、⑦に該当した場合（②については、行為の時点が任期の始期以降であるもの） … 要事前協議
- (オ) その他、所属する法人等に関係して栄典の受章環境について検討が必要と思われる場合 … 要事前協議

ウ 候補者が一被用者であり、監督する立場にない（なかった）場合

- (ア) 在任中及び在任後に、法人の代表者等が法人等のために行った行為により、上記①、②、⑦に該当した場合（②については、行為の時点が任期の始期以降であるもの） … 要事前協議
- (イ) その他、所属する法人等に関係して栄典の受章環境について検討が必要と思われる場合 … 要事前協議

なお、経過年数等の諸事情により明確な線引きが難しい事案や主要経歴以外の経歴に係る事案も多いと思われるが、内閣府への協議書類提出後に事前協議案件が判明した候補者については、推薦取下げとなることがあるので、入念に調査するとともに、判断に迷う事例である場合は、幅広く事前協議していただくよう、お願いします。

また、協議途中で、新たに栄典環境上の問題があると考えられる事案が発生した場合は、速やかに連絡されたい。